

第1回定例会 3月議会



3月14日に、あかし市民広場で「まちライブラリーフェスタ」が行われました。「まちライブラリー」は、市内のカフェやオフィス、病院などに自由に使える本棚を設置し、本をきっかけに人がつながる活動です。

第1回定例会3月議会が2月19日から3月24日まで開かれました。令和3年度当初予算や明石市企業版ふるさと納税地方創生基金条例制定、明石市新型コロナウイルス感染症の患者等に対する支援及び差別禁止に関する条例制定など、議案48件を可決・同意、報告5件を了承しました。

子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正 令和3年7月から18歳まで無償化 年間予算は2億1200万円増額

3月24日の本会議では、明石市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案を全会一致で可決しました。

本市は、全国に先駆け市独自に所得制限を設けず、子ども医療費を中学3年生まで無償化することにより、子育て世帯の経済的な負担を軽減しています。しかし、中学校卒業後は公的支援が少なく、子育てに係る経済的負担は大きく、コロナ禍



子どもを核としたまちを推進

で生活はさらに厳しい状況になっていきます。そのため、高校生世代が経済的な理由で病院に行くことをためらうことのないよう、医療費無償化の対象年齢を現在の15歳から18歳に引き上げるため、条例の一部を改正しようとするものです。

本条例の改正は、令和3年7月1日から実施し、高校生だけでなく、中学校卒業後に自身で生計を維持している人も無償化の対象となります。今回の改正に伴う市の新たな負担は、年間2億1200万円の増額を見込んでおり、3年度当初予算案には、3年7月から4年3月までの経費として1億5600万円を計上しています。

審査を行った文教厚生常任委員会では、委員から、財源の確保が厳しくなれば事業を見直す考えはあるのかとの質問があり、市からは、市の財政状況が逼迫した場合は、本事業に限らず、全ての事業を見直し、優先順位を検討していくとの答弁がありました。

コロナ条例制定 市民への支援と差別の禁止 罰則定めず市民に寄り添う

3月24日の本会議では、明石市新型コロナウイルス感染症の患者等に対する支援及び差別禁止に関する条例案を全会一致で可決しました。

本条例は、新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる市民などを総合的に支援し、市民の健康や生活を守るとも

に人権を保護するため、本市の感染症対策の基本方針を定めるものです。主な内容としては、感染症の予防と拡大防止のための市民、事業者、社会福祉施設等の施設に対する総合的な支援のほか、感染者等への差別的取り扱いの禁止について規定しています。

なお、国は感染症法の一部を改正し、入院に对应しない場合等に罰則を科すことができるようになりましたが、本市では罰則は設けず、市民に寄り添い個々の事情に配慮した支援を行うことを明記しています。

差別的取り扱いの禁止については、感染していることや過去の感染歴などを理由とした差別を禁

止し、被害を受けた場合やその恐れのあるときは、救済を図るため必要な支援を行います。審査を行った文教厚生常任委員会では、委員から、差別があった際の具体的な対応について質問がありました。市からは、弁護士職員も入ったチームにより個々の事情に配慮した支援を検討していくとの答弁がありました。



本市の感染症対策の基本方針を定める

- も 2 会派を代表して4人が市政を問う 代表質問
- く 3 オンラインで開催 明石商工会議所との意見交換会
- じ 3 令和2年の市議会の活動 会期・議決事項件数
- 4 市政を問う 18人が登壇 質疑・一般質問
- 6 議員よもやま話
- 7 予算の概要説明 委員会の審査を紹介
- 8 各議員の議案に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧

マチイロ
市議会だよりを
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要で

